

「南金津町移住定住促進団地」(仮称) による持続可能な町づくりは

町長＝空き家の活用事業と連動し、人口減少対策に取り組んでいく

問

昨年から町議会
の二分數から審
り受け、助け合い生活
できるサブタウンな町
の実現は、町長は「
生活機能を集約して
の効率化は、町の財
政負担軽減であり、
メリットは大きい」と認
識しているが、その範
囲への集約は強制でき
ないことと述べ、次に「得
失的に集約するより
アが形成されれば、
防壁という形で時間
をかけるながら集約化
を推進していくことも
あり得る」と答弁して
いる。南金津町人口
ビジョンには、現在の
本町約13000人の
の人口を2060年
には、5800人の縮
小を目指すことになっ
ています。35年未来
の町民が住んでも
住宅の分有事業は

町長

現在どのような
イメージをお持ち
なされておられますか。
今後、住宅の分有事業
を推進している自治体

問

の有様を調査し、将来
的に「町の政策や事業開
展にふさわしい」とある
と判断すれば、整備を
いく進めます。

町長

北津波の上川
町では、上川
町移住・定住促進団地
宅地分譲という政策
によって、人口の維持
増加をはかっています。
これは町長答弁の「集
約するエリアの形成」で
す。本町も南金津町
移住・定住促進団地(仮
称)により人口維持
増加の施策を進める必
要があるのでは。

町長

一般的に分譲
エリアが限られており、商
業施設が近接する利便
性が高く、その土地土
地が主眼な分譲で購入
できるなどのメリットが
挙げられます。現在本
町では、民間事業者が
分譲地を整備、販売し
ており、一応紹介の上川
町の先進事例が、本町
にも念及する事業であ

るかは、慎重な判断が必
要になります。

現時点において、「南金
津町移住・定住促進団地
(仮称)の事業化は考え
ていませんが、人口減少
対策は重要な課題であ
り、増加するため空き家の利
活用など様々な事業を
連動させて、人口減少対
策に取り組んでいく考え
です。



住宅化が進む、国道299号へ沿った(仮称)町
移住促進、南津波町移住促進(仮称)町



上川町の移住促進、人口約3000人増し、住宅が分譲の町(仮称)町
移住促進、南津波町移住促進(仮称)町

「その先の質問」
子供たちそれぞれの可能性が開花する学校、町の事業は